

社 会

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	社会 305 405 505・506 605・606	AB 852	令和5年 (14冊)
17	教育出版	教 出 ◆	社会 307 407 507 607	AB 976	
116	日本 文教出版	日 文 ◆	社会 308 408 508 608	AB 986	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

小学部 社会(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東 書	教 出	日 文
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①実際に経験したり調べたりするなど、聴覚障害を補う学習活動が工夫できるもの ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの	☆☆☆ 27箇所 ①4年「水はどこから」では、ビオトープの自然教室に参加して、生き物の調査やビオトープの整備を行う活動が示してある。(P48-49) ②5年下「情報産業とわたしたちの暮らし」では、政見放送のイラストに手話通訳者も描いてある。(P60)	☆☆☆ 26箇所 ①3年「かわる道具と暮らし」では、郷土資料館を訪ねて昔の道具を調べる活動が示してある。(P134-135) ②5年「自動車の生産にはげむ人々」では、聴覚障害のある人が工場で働く様子を写真で示してある。(P139)	☆☆☆☆ 45箇所 ①4年「自然災害から命を守る」では、防災体験施設で、実際に災害時の体験をする活動が示してある。(P96) ②6年「日本国憲法と政治のしくみ」では、補聴器を装着している子供の写真が示してある。(P26)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声情報を必要とする見学等の活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの	★★★ 59箇所 ①3年「事故や事件から暮らしを守る」では、交番を訪ねて警察官にインタビューをする活動が示してあり、学習の際に支援が必要である。(P108)	★★★ 59箇所 ①4年「水害にそなえるまちづくり」では、市役所の係の人にインタビューを行う活動が示してあり、学習の際に支援が必要である。(P104)	★★★★ 102箇所 ①3年「店ではたらく人びとの仕事」では、スーパーマーケットの店長にインタビューをする活動が示してあり、学習の際に支援が必要である。(P84)
構成上の工夫	本文の文字サイズ	3年最初 18ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 17ポイント 6年最後 14ポイント	3年最初 16ポイント 6年最後 15ポイント
	1ページの基本的な文字数	3年最初 19字×15行 6年最後 22字×20行	3年最初 23字×9行 6年最後 25字×18行	3年最初 21字×15行 6年最後 24字×19行
	ふりがな	未修得及び難読漢字	未修得及び難読漢字	未修得及び難読漢字
	折り込み図版ページの箇所数	8箇所	10箇所	8箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの	①5年上「米づくりのさかんな地域」では、約60年前と現在の米づくりの技術の変化が比較できるよう、写真を並べて示してある。(P83) ②本文ページの左右の欄外に、「ことば」として重要語句を枠囲みで解説してある。(4年P24など)	①5年「自然災害とともに生きる」では、折込図版ページに、近年の主要な自然災害の写真と発生した地域を示した日本地図を配置してある。(P209) ②本文ページの左右の欄外に、本文中に太字で示された語句を、「キーワード」として枠囲みで示してある。(6年P15など)	①6年「明治の新しい国づくり」では、明治時代に活躍した人物の写真を地図上に配し、人物の関係が視覚的に確認できるようにしてある。(P171) ②本文ページの左右の欄外に、本文中に太字で示された重要語句を、「キーワード」として枠囲みで解説してある。(5年P28など)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	神話や伝統を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり
	防災自然災害の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり
固定的な性別役割分担意識に関する扱い	あり	あり	あり	

小学部 社会(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東 書	教 出	日 文
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①学校内や学校周辺で、身近に体験できる学習活動が示されているもの ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの	☆☆☆ 20箇所 ①3年「火事からくらしを守る」では、学校内の消防施設を探す活動を示してある。(P98-99) ②5年(下)「自動車をつくる工業」では、車いすのまま乗車できたり、手だけで運転できたりする自動車開発に関する記述がある。(P21)	☆☆☆☆ 39箇所 ①4年「水はどこから」では、学校の中にある水道管はどこにつながっているのか、たどる活動を示してある。(P53) ②6年「ともに生きる暮らしと政治」では、パラリンピック及びパラバドミントン日本代表選手の話の記述がある。(P10)	☆☆☆ 24箇所 ①3年「火事から人ひとを守る」では、消防団員を学校に招き話を聞く活動を示してある。(P108) ②6年「日本国憲法と政治のしくみ」では、障害者差別解消法や合理的配慮に関する記述がある。(P17)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①補助用具や補助的手段を活用しても、見学や体験的な活動に困難が想定されるもの	★★★★ 20箇所 ①4年「水はどこから」では、浄水場に見学に行く活動があり、取り扱いに配慮を要する。(P38)	★★★★ 28箇所 ①3年「まちの様子」では、土地の高い所と低い所のコースを探検する活動があり、配慮を要する。(P18)	★★★★ 29箇所 ①3年「うつりかわる市とくらし」では、博物館に見学に行く活動があり、取り扱いに配慮を要する。(P130)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字サイズ	3年最初 18ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 17ポイント 6年最後 14ポイント	3年最初 16ポイント 6年最後 15ポイント
	1ページの基本的な文字数	3年最初 19字×15行 6年最後 22字×20行	3年最初 23字×9行 6年最後 25字×18行	3年最初 21字×15行 6年最後 24字×19行
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	折り込みページの箇所数	8箇所	10箇所	8箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各单元等のまとまりが記されていたりするもの ②写真、図表等で視覚的に説明されているもの	①3・4年、5年下、6年政治・国際編の巻末には、学んだことを振り返ることができるまとめのページがある。(6年政治・国際編P108-109など) ②5年上「国土の地形の特色」では、空から見た国土について、平野や川、半島等の特色が分かる写真で示してある。(P16-17)	①「水はどこから」では、ごみを減らしたり節水したりする取り組みについて、自分の考えをまとめ、話し合う様子をイラストと吹き出しで示してある。(4年P70-71など) ②3年「市の様子」では、市の様子を空から撮影した写真が見開きで大きく示してある。(P22-23)	①学習のまとめが登場人物のコメントとともに、図で記してある。(4年P187など) ②5年「自動車工業のさかんな地域」では、自動車ができるまでの様子を、工程ごとの写真と矢印で示してある。(P148-149)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	神話や伝統を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり
	防災・自然災害の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	あり	あり	あり

